

料金後納
郵便

郵便区内特別

重要

令和 6 年度湖西市がん検診等受診券

検診実施期間

令和 6 年 4 月 19 日（金）から
令和 6 年 10 月 31 日（木）まで

（一部の医療機関では令和 7 年 1 月 18 日（土）
まで実施しています。裏表紙を御覧ください。）

※検診の結果は、医療機関から湖西市健康増進課
に報告されます。

※検診は、自覚症状のない健康な人こそ、受けて
いただくべきものです。これを機会に検診を受
けることを習慣にしましょう。

※自己負担が無料の対象年齢は「75 歳以上」です。

〒431-0442 湖西市古見 1044 番地
湖西市役所 健康増進課
TEL 053-576-1114

令和 6 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しく下さい。

検 診 名 (自己負担額)		受診券番号
受診者名		
生年月日	(歳) 令和 7 年 3 月末時点	

令和 6 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しく下さい。

検 診 名 (自己負担額)		受診券番号
受診者名		
生年月日	(歳) 令和 7 年 3 月末時点	

令和 6 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しく下さい。

検 診 名 (自己負担額)		受診券番号
受診者名		
生年月日	(歳) 令和 7 年 3 月末時点	

令和 6 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しく下さい。

検 診 名 (自己負担額)		受診券番号
受診者名		
生年月日	(歳) 令和 7 年 3 月末時点	

令和 6 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しく下さい。

検 診 名 (自己負担額)		受診券番号
受診者名		
生年月日	(歳) 令和 7 年 3 月末時点	

受診までの手順

手順 1：受診方法（個別検診または集団検診）を決める。

個別検診
湖西市内の医療機関で検診を受ける方法です。 (実施医療機関は、裏表紙の一覧表をご覧ください。)
集団検診（完全予約制） 9 月・10 月中に実施予定 健康福祉センターと新居地域センターで集団検診を実施する 日から、希望日を選んで検診を受ける方法です。 ※詳細は、広報こさい 3.15 月号 (3 月 15 日発行) に掲載しました。

手順 2：医療機関に予約する。（個別検診）

裏表紙の一覧表に「要予約」の表示がない場合は、不要です。

手順 3：医療機関へ行き、受診する。（個別検診）

＜持ち物＞

- ・受診券（1 枚ずつ切り離して、お持ちください。）
- ・自己負担金（金額は、各種検診の内容をご覧ください。）
- ・健康手帳（40 歳以上でお持ちの人）
※お持ちでない人は、検診受診時に希望があれば交付します。
- ・健康保険証または身分証明書

注意事項

- ①妊娠中またはその可能性がある人は、胃がん検診、乳がん検診及び子宮頸がん検診を受診できません。
また、治療内容や体内への医療機器挿入等の状況で受けられない検診があります。
- ②勤め先や人間ドック等で検診を受ける機会のある人は、重複して市の検診を受ける必要はありません。
- ③治療中の人は主治医とご相談ください。

がん検診について

検診には**デメリット**があります。

がんは、発生してから一定の大きさになるまでは発見できませんし、見つけにくいがんもあるため、全てのがんを検診で発見できるわけではありません。

また、がんでなくても**要精密検査**と判定されることがや、放置しても死に至らないがんを発見する可能性もあるため、結果的に不必要な治療を受けなければならない場合もあります。

ただし、胃がん検診（X線検査、内視鏡検査）、大腸がん検診（便潜血検査）、乳がん検診（マンモグラフィ）及び子宮頸がん検診（細胞診）は、**死亡率の減少が科学的に証明された検診**であり、デメリットと比べてがんで亡くなることを防ぐ**メリット**が大きいことが証明されているため、必ず定期的に受診してください。

がんの特徴	胃がん	50 歳以上の人にかかることが多く、日本のがんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
	大腸がん	かかる人が増加しており、日本のがんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
	乳がん	かかる人が日本の女性のがんの中でも多く、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
	子宮頸がん	かかる人が日本の女性のがんの中でも比較的多く、30-40 歳代の人で近年増加傾向にあります。

個別検診 実施医療機関 一覧表

医療機関名	実施期間の終日	がん検診						肝炎ウイルス検診	骨粗鬆症検診		
		胃		大腸	乳房	子宮頸部	前立腺				
		X線	内視鏡								
市立湖西病院健診センター 053-576-1232	1月17日	○ 要予約 予約受付は 13:30～16:30		○	○ 要予約 予約受付は 13:30～16:30 ※乳房・子宮頸がん検診は定員があります。						
浜名病院健診センター 053-573-3700	1月18日	○ 要予約									
あらい青葉クリニック 053-594-0044	1月18日	○ 要予約		○			○	○			
いしはま医院 053-573-0101	1月18日	○ 要予約		○			○	○			
伊藤医院 053-578-0658	10月31日			○			○	○			
牛田クリニック 053-574-2252	1月18日			○			○	○			
大久保小児科内科クリニック 053-594-7311	10月31日			○			○	○			
吉美生活習慣病内科クリニック 053-488-6095	1月18日			○ 要予約			○ 要予約	○ 要予約			
クリニック井田 053-595-1188	1月18日		○ 要予約	○ 要予約	○ 要予約		○ 要予約	○ 要予約	○ 要予約		
こいで整形外科・皮膚科 053-575-1080	1月18日								○		
新所原医院 053-577-0112	10月31日			○			○	○	○		
新村医院 053-594-0080	1月18日			○			○	○			
長尾クリニック 053-574-3222	10月31日			○			○	○	○		
なかしま内科 053-574-3317	1月18日	○ 要予約		○ 要予約			○ 要予約	○ 要予約			
なごみ健診クリニック 053-543-7531	1月18日	○ 要予約		○	○ 要予約		○	○			
西湖西整形外科 053-522-7001	1月18日								○		
榛名医院 053-578-1092	10月31日			○			○	○			
疋田クリニック 053-594-8222	10月31日			○			○	○	○		
みなとクリニック 053-595-0780	10月31日			○			○	○			

※市立湖西病院 健診センターへの予約は、12月末までに申し込んでください。

各種検診の内容（2/2）	
乳がん検診	自己負担金：1,000円
内 容	マンモグラフィ
対象者	40歳以上で、前年度に乳がん検診を受けていない女性
精密検査	乳房の精密検査は、疑わしい部位を多方面から撮影する「マンモグラフィ追加撮影検査」や、超音波で疑わしい部位を詳しく観察する「乳房の超音波検査」、疑わしい部位に針を刺して細胞や組織を採取して悪性かどうかを調べる「細胞診、組織診」等が一般的です。
子宮頸がん検診	自己負担金：1,000円
内 容	視診、子宮頸部の細胞診、内診
対象者	20歳以上で、前年度に子宮頸がん検診を受けていない女性
注意点	人によっては検診時に出血を伴うことがあります。
精密検査	子宮頸部の精密検査は、膣拡大鏡を使って子宮頸部を観察し、必要に応じて組織を採取して悪性かどうかを検査する「コルポスコープ検査」を行います。 また、細胞診の結果によっては、子宮頸がんを引き起こすウイルスの有無を調べる「HPV検査」を行って「コルポスコープ検査」の必要性を調べることもあります。
前立腺がん検診	自己負担金：500円
内 容	血液検査（PSA検査）
対象者	50歳以上の男性
<div>前立腺がん検診について</div> <p>前立腺がん検診については、現時点では、がんによる死亡率の減少が科学的に証明された検診ではありません。 その1つの理由としては、前立腺がんには放置してもほとんど進行しないものが多く、検診を受けた方が、結果的には必要のない精密検査や治療で不利益を受ける可能性が高いとされているためです。 受診される場合には、このような不利益が生じる可能性が他の検診よりも高いことを、理解しておいてください。</p>	
肝炎ウイルス検診	自己負担金：500円
内 容	血液検査（B型肝炎・C型肝炎ウイルス検査）
対象者	40歳以上（受けた経験がある人は対象外です。）
骨粗鬆症検診	自己負担金：500円
内 容	骨量測定装置による測定
対象者	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性
胸部検診（結核・肺がん検診）	自己負担金：500円
※別途、胸部検診受診券（茶色）を発送しています。	

各種検診の内容（1/2）	
対象年齢の基準日は、令和7年（骨粗鬆症検診は令和6年）3月31日です。	
胃がん検診	
内 容	胃のX線検査または内視鏡検査のいずれか
X線検査（レントゲン撮影）	自己負担金：2,000円 発泡剤（胃を膨らませる薬）とバリウム（造影剤）を飲み胃の中の粘膜を観察する検査
内視鏡検査（胃カメラ）	自己負担金：2,500円 口または鼻から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察する検査
対象者	X線検査：41歳、46歳、50歳以上 内視鏡検査：50歳以上（※前年度内視鏡検査を受けていない人）
※前年度X線検査を受けた方は、受診券を送付しておりません。検診は受けられますのでご希望の方はご連絡ください。 ※内視鏡検査を受けた方は、来年度の胃がん検診は受診できません。	
飲食等	検査前日の夜9時から検査終了までは、食事・飲酒はしないでください。 検査当日の朝6時まではコップ1杯程度の水であれば飲んでも差し支えありませんが、水以外（お茶やスポーツ飲料も不可）は、飲まないでください。
服薬	高血圧・心臓病の薬は、検査当日の朝6時までにコップ半分程度の水で服用してください。（これらの薬以外のものは、検査終了後に服用してください。）
※糖尿病治療中の方は、朝のインスリン注射や薬の服用は低血糖になる危険があるため服用しないでください。	
精密検査	胃の精密検査は、内視鏡検査を行います。 内視鏡検査で疑わしい部位が見つければ、組織を採取して、悪性かどうかを調べる検査を行います。 （検診で内視鏡検査を受けた方は、検診時に同時に行う場合もあります。）
大腸がん検診	自己負担金：500円
内 容	便潜血検査（2日法）
対象者	40歳以上の方
精密検査	※便潜血検査の再検査は不適切です。 大腸の精密検査は、肛門から内視鏡を挿入し、大腸の内部の観察や、必要に応じて組織を採取して悪性かどうかを調べる「全大腸内視鏡検査」が第一選択です。 （困難な方については、別の方法で検査します。）
精密検査の結果は、健康増進課に報告されます。 検診の結果、「要精密検査」と判定された方は、精密検査を受けなければ検診を受けていただいた意味がありませんので、必ず受けてください。 また、精密検査の受診状況を確認するため、健康増進課から直接ご本人に連絡することがありますので、ご了承ください。	